

# 2024

## ANNUAL REPORT

# TOMONI

KYOURITSUSHINGU





代表取締役  
久保栄一郎

共立寝具ビジョン「共生共栄～共に生き、共に榮えることを喜びあえる企業である～」とは、2024 年度に策定したビジョンです。これまで会社では、「人と人のつながりある社会を作る」というキーワードを大切にしてきました。では、どんな「つながりか？」と考えたときに、「共に生きること、共に榮えることを喜びあえる」という関係性が浮かびました。

そもそも商売は、古くから「お互い様」という関係性を大切にしてきました。そこには、お互いがよくなることが自分の為でもあるということや、困ったときは助け合うといった意識や信頼がありました。

ですが、長らく「自分の利益」だけを優先した結果、その関係は消え去ってしまいました。

そうすると、「自分の利益＝相手の損」なのです。「自分の勝ち＝相手の負け」なんです。売る方は高く売りたい、でも買う方は安く買いたい。その結果が、今の経済の衰退です。

これから、地域は大きな変化を迎えていきます。人口が減り、市場が消滅していくことで企業も地域インフラも衰退していきます。そんな時だからこそ、単なる勝ち負けの関係で終わってしまってはダメだと思います。「相手の繁栄が自分の喜び」「自分の成長が周りの喜び」そう言えるような関係性のインフラを商売を通じて社内外に築いていくことを目指していきます。

このアニュアルレポート「TOMONI」は1年間の共立寝具としての活動をまとめ、社内外の皆さんと共有するための物です。本当は年度終わりすぐに出したかったのですが、時間がかかってしまいました。ですが、これから共に「共栄圏（お互いが繁栄できるコミュニティ）」を創るために想い・行動を共にできるきっかけになれば幸いです。



# 独立寝具株式会社

## 経営理念

- 世代を超えて大切にしていきたいこと -  
に基づいた商売を通して、共栄圏をつくり広げていく

## ビジョン

- 会社のありたい姿・目指す方向性 -

## 共生共榮

き、共に榮えることを喜び合える企業である

## バリュー

- 行動指針 -

相手にとって大切なつながりの1つとなる



# 事業内容と経営ハイライト（～2024年）

## 事業内容

共立寝具（株）は病院・クリニック・福祉施設の皆様へ寝具・ユニフォーム等の販売・クリーニング・メンテナンスを行う、リネンのトータルパートナーです。



リネンサプライ

衛生管理されたシーツやタオルなどを必要な時に提供するサービス。医療関連サービスマーク適合工場で生産しています。



ユニフォーム

看護師・ドクター・介護士と役割に応じた機能性高いユニフォームをご用意しています。レンタルとクリーニングを一括して承ります。



レンタル&クリーニング

メンテナンス付きカーテンは年1回のクリーニングで衛生環境を維持。マットレスなども一括対応します。



介護・衛生用品

紙おむつ・ビニール手袋・紙エプロン・マスク等の消耗品から、車いす・介護ベッドまで幅広く取り扱いがございます。



サージカルリネン

滅菌済みで繰り返し使える器械台カバーやドレープを提供。衛生を保ちつつ廃棄コストを削減します。

## グループ企業



弘前ドライ株式会社弘前ドライクリーニング工場  
<https://hirosakidry.co.jp/>



久栄会社会福祉法人 久栄会（障がい者の就労支援）  
<https://hirosakidry.co.jp/>

## 2024 年度経営ハイライト（売上・新規物件・採用・取り組みなど）

- ・売上は約 14 億円で昨年より微増
- ・敬仁会病院の入院セットがスタート
- ・新型イージーホーク導入
- ・社長室を MTG ルームへ



### 新型イージーホークでの作業

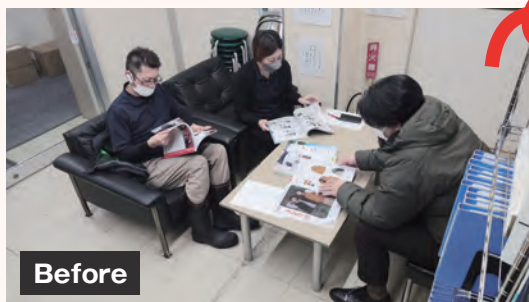
イージーホークとは、シーツを大きいアイロンがけする機械（ロール機）に投入する機械です。

新しくなったことでスピードが向上し、1 時間あたりの生産枚数がアップしました！



### 新しくなったミーティングルーム

元々当社の来客対応や面接・ミーティングは、社長室件応接室で行っていました。お互いの顔が見えづらく、話もしづかった部屋を模様替え！壁塗りやカーペットの施工は社内メンバー皆で行いました。モニターもついて、快適です！



## 「共生共栄」の実現に向けた未来創造活動

共立寝具では、「本業を通じた継続的な社会課題の解決」を第一に掲げ、よりよい社会創出と企業の持続的な発展に努める証である、未来創造企業の認証を取得しております。これは、企業のすべての関係者（ステークホルダー）と共に協力し合い、希望ある未来を切り開いていく挑戦です。



### 働く仲間と 「共に」

共に働く仲間と支え合い、成長し続けることが企業の力です。チーム一丸となり、挑戦を楽しみ、互いの可能性を広げていきます。



→ P7



### パートナー企業と 「共に」

仕入れ先も、お客様も地域を良くするパートナー。共に発展繁栄していく関係を築き、未来を切り開きます。



→ P8

### 地域と 「共に」

地域社会とのつながりを大切に、共に成長する環境を作り出します。地域の発展に貢献し、共に歩む未来を目指します。



→ P9



### 地球と 「共に」

地域社会を構成する一員として、地域の発展に貢献し、共に明るい未来を創りだします。



→ P10

共生  
共栄

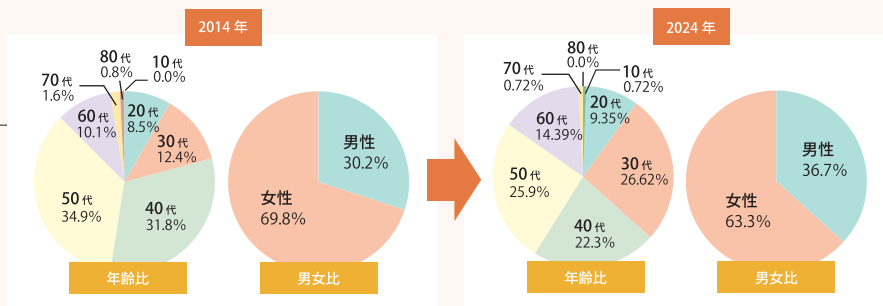
## 働く仲間と「共に」

共に働く仲間と支え合い、成長し続けることが企業の力です。チーム一丸となり、挑戦を楽しみ、互いの可能性を広げていきます。



### ①従業員数の推移

この10年で  
社員数：129名→139名  
平均年齢：43.3歳→44.1歳



### ②もにす認定の取得

障がい者の雇用に取り組む優良な事業所を国が認定する「もにす認定制度」に弘前市で初めて認定を頂くことができました。県内企業の4割が法定雇用率2.3%を達成していない状況の中、弊社の雇用率は13.3%となっており、障がい者が活躍できる社会づくりに貢献できています。



### ③コミュニケーター・リーダーの導入

業務もコミュニケーションも円滑に進むように、職場内の橋渡しをしてくれる役割「コミュニケーター」、業務の段取り・指示を行う役割「リーダー」を導入しました。時給社員にとっての成長やステップアップという意味も含んでいます。役割を負うというのは責任を求められ難しくもありますがよく頑張ってくれました。



### ④表彰制度

「明るい挨拶」や「笑顔が素敵」のように、人事考課ではなかなか評価がしにくい、でもすごく職場に貢献している！という方にスポットライトを当てて、社内投票にて表彰者を決定しました！障がい者・健常者関係なく表彰者が出て、皆見ているな～と感じました。



### ⑤おさがり会・夏祭り

企画委員会が中心となって、新たな取り組みとして、夏祭りを開催してくれました。社員はもちろん、そのご家族までご参加してくれて、大変盛り上がりしました。中には得意技を披露する人も？企画運営・後片付けまでしてくださった皆さん、ありがとうございました。

また、社員同士でいらなくなったものを交換する「おさがり交換会」も催されました。思ったよりもたくさんの方から物の提供を頂き、ありがとうございました。ただ、マッチングが難しく、結構余ってしまった物もあったので、ちょっと大変でしたね。。付き合ってください企画委員の皆様、本当にありがとうございました。



## パートナー企業と 「共に」

信頼し合い、共に発展するパートナーシップを築きます。お互いの強みを活かし、共に成功を目指して歩んでいきます。



### Pマーク(プライバシーマーク)取得



Pマーク（プライバシーマーク）とは、企業が適切に個人情報情報を管理・保護していることを認定する制度です。Pマークを取得することで、当社は個人情報情報を適切に管理し、安全で信頼できる取引環境を整えています。これにより、パートナー企業とも安心して情報を共有し、より強固な協力関係を築くことが可能になります。お互いのビジネスの透明性を高め、共に成長し、持続可能な発展を目指すための基盤を強化していきます。



### ソーシャルワーカーデーへの参加

公益社団法人青森県社会福祉士会様が主催する「ソーシャルワーカーデー in あおもり」にウレタンメーカーイノアック様と共に、企業出典を行いました。リライブシャツや褥瘡予防アイテム等を展示し、反響を頂きました。



### ピンクリボン自販機設置

原田ベンディングサービス様からのご提案で、自動販売機をチャリティー自販機に変えました。売上の一部が乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えるための活動「ピンクリボン運動」に寄付されます。



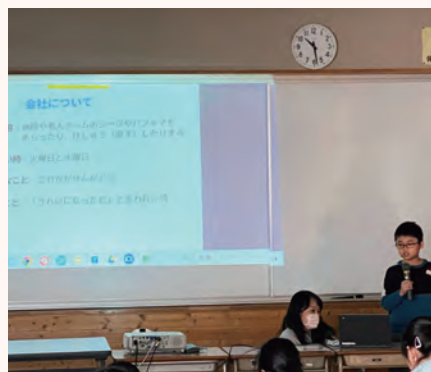
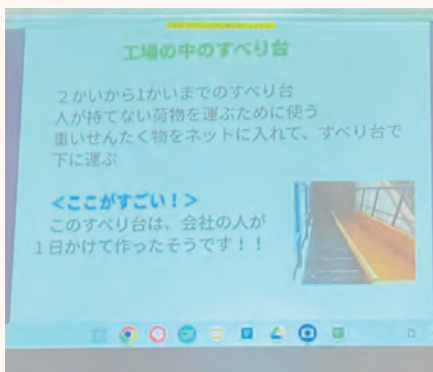
## 地域と「共に」

地域社会とのつながりを大切にし、共に成長する環境を作り出します。地域の発展に貢献し、共に歩む未来を目指します。



### 職業体験 こどもインターンシップ

NPO 法人みらいねっと弘前様との協働で、「働く楽しさと、大人達との出会い」をテーマに、小学生数人に、職業体験を提供しました。シミ抜き体験や、機械にシーツをかけてみるなど、少人数だからできるしっかりとした職業体験をしていただきました。



### まち探検

弘前市立城東小学校様と協働で、授業の一環として3年生が弊社を訪問・見学。どんな会社か？をクラスメイトに報告する発表を行いました。さすが、子どもの視点、印象に残るところがユニークですね！

### こどもミュージアムトラック

「子どもたちの絵をトラックにラッピングすることで、運転士にも見る人にも心のゆとりを取り戻し、交通事故を減らす取り組み」であるこどもミュージアムプロジェクトに参画しました。社内の子どもたちに絵を描いてもらったミュージアムトラック第1号が納車され、皆でお披露目会をしました。現在は市内を走り回っています。皆から見られている感じが良かったとか（笑）



### 地球と「共に」

地球環境を守りながら持続可能な社会を実現します。自然と調和し、未来を見据えた活動を通じて、地球と共に生きる道を進みます



### 青森ペーパープロジェクト

使い終わった衣服や布等の繊維製品から紙を作る「サーキュラーコットンペーパー」を、弊社の廃棄品となる横シーツを原料にして作成しています。その紙をねぶたにし、ねぶたで使い終わった和紙をさらに団扇にし、大阪万博にて販売することができました！廃棄する物で新しい価値を生み、さらにそれが地域の価値を上げる物にする。この取り組みを「青森の資源で作られた紙」なので、「青森ペーパープロジェクト」と名付けました。



### もったいない・あおもり賞受賞

青森ペーパープロジェクトを含む、弊社のエコな取り組みが評価され、青森県庁より「もったいない・あおもり賞」を頂くことができました。このニワトリは青森のエコ推進キャラクター、エッコーくんです。



### 知事と語る脱炭素セミナー

また、もったいない・あおもり賞からさらに繋がり、宮下知事や県内の市町村長に向けて青森ペーパープロジェクトの取り組みを発表させて頂く機会を頂きました。



## 2025 年度に向けて

私が会社を継ぐと決意したタイミングは2回あります。1回目創業者である祖父が亡くなったとき、葬式には会場に入りきれないばかりの花と人であふれていました。当時は大学生でしたが「このつながりをなくしていいのか・・・？」という思いから継ぐことを決意しました。

2回目は、東京にて教育をしていたとき、「子どもたちの未来にいい影響を与えたい」という思いで仕事をしていたが、当の先生たちの関係性が悪かったり、子どもに関心がなかったり、結局「大人が変わらないと子どもの日常なんて変わらない」そう突き付けられました。

働く大人たちが子どもたちに生きる楽しさや働く喜びを伝えられる社会。  
それが僕がやりたいことです。

そのために会社は共同体でありたいと思っています。  
助け合い、喜び合い、成長し合い。そんな昔は村や家庭や学校でできていて、今できていないことをできる場所。

来年度はもう既に始まっていますが、2024 年にもまして様々な取り組みが始まっています。利益を上げるのは会社にとって最低限です。その過程で「共に生きられること」「共に榮えること」を共に喜びあえるつながりを社内外に作って参りましょう。

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 代表あいさつ・経営理念・ビジョン・バリュー ..... | 2・3 |
| 事業内容と経営ハイライト .....          | 4・5 |
| 「共生共榮」の実現に向けた未来創造活動 .....   | 6   |
| 「共に」のステークホルダー経営             |     |
| 1. 働く仲間と「共に」 .....          | 7   |
| 2. パートナー企業と「共に」 .....       | 8   |
| 3. 地域と「共に」 .....            | 9   |
| 4. 地球と「共に」 .....            | 10  |
| 未来を共に築く .....               | 12  |



## 共立寝具株式会社

【本社】〒036-8111 弘前市門外4丁目3-47

【神田工場】〒036-8061 弘前市神田5-8-1

TEL：0172-32-6926

FAX：0172-32-6927

URL：<https://kyouritsusingu.co.jp/>

WEB サイトはこちらの QR から→

